

令和元年度関東高等学校男子バスケットボール大会 兼 第73回関東高等学校男子バスケットボール選手権大会

令和元年6月1日(土) Aブロック 1回戦 富士北麓公園体育館 Aコート 第1試合

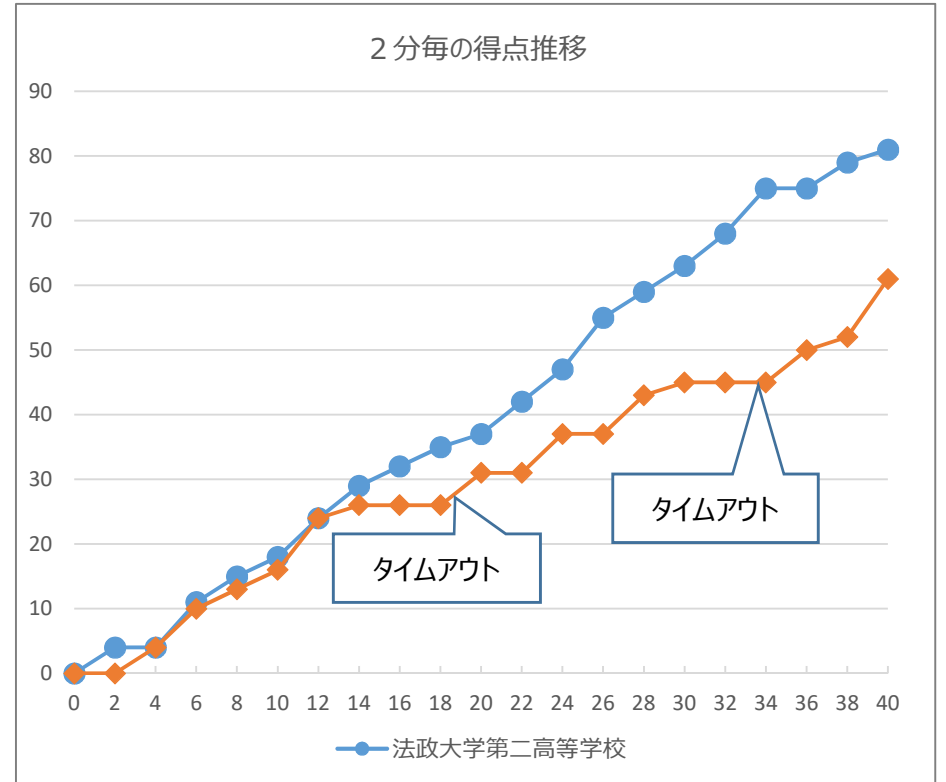
チームA 法政大学第二高等学校 (神奈川県)	81	18 1st 16	61	チームB 習志野市立習志野高等学校 (千葉県)
19 2nd 15				
26 3rd 14				
18 4th 16				
OT				

Aチーム： 法政大学第二高等学校

	S	No.	氏名	PTS	3P FG		2P FG		FT		F	REBOUNDS		
					M	A	M	A	M	A		OR	DR	TOT
1		1	田坂 優真	8	1	1	1	3	3	4	2	1	3	4
2	*	3	今池 翔大	7	0	3	2	11	3	3	2	0	2	2
3		4	有賀 陸	6	0	2	2	5	2	2	0	0	3	3
4	*	5	田中 一真	12	0	2	4	12	4	6	1	4	2	6
5		6	坂本 温人	2	0	1	1	2	0	0	2	1	0	1
6	*	9	高嶋 隆之介	12	0	3	4	6	4	4	2	3	5	8
7		15	岩津 伶音	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
8		16	千原 禎之	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
9	*	17	佐藤 悠真	9	1	4	3	5	0	0	1	2	2	4
10		23	山田 嘉脩	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
11		29	佐藤 正樹	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0
12		30	吉澤 凌雅	14	2	3	4	4	0	0	1	1	11	12
13	*	31	皆藤 太郎	7	0	0	2	12	3	3	0	1	5	6
14		34	深澤 寿	2	0	0	1	1	0	0	0	0	1	1
15		37	コラン 直生	2	0	0	0	0	2	2	0	0	1	1
HC/TEAM			鈴木 恭平											
合計				81	4	20	24	63	21	24	12	13	37	50

Bチーム： 習志野市立習志野高等学校

	S	No.	氏名	PTS	3P FG		2P FG		FT		F	REBOUNDS		
					M	A	M	A	M	A		OR	DR	TOT
1	*	4	樋口 颯太	8	0	8	4	8	0	0	3	2	1	3
2		5	戸田 惣二郎	4	0	0	2	3	0	0	2	2	5	7
3	*	6	太田 成吾	15	3	9	3	6	0	0	4	1	2	3
4		7	黒澤 龍人	11	3	12	0	3	2	2	1	1	2	3
5		8	レモト ケイゴ	2	0	0	1	2	0	0	0	0	5	5
6		9	渡辺 夢生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7	*	10	梶原 イマノエル	1	0	0	0	1	1	4	2	3	5	8
8		11	石黒 遼	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9		12	小原 駿平	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10		13	諸見里 真陽	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11		14	蓬田 デレクフェルナンド	0	0	0	0	1	0	0	2	1	1	2
12	*	15	マクローリン 耀イアン	2	0	3	1	2	0	1	4	1	1	2
13	*	16	林 弘人	1	0	0	0	0	1	2	2	0	2	2
14		17	木島 優	17	3	11	4	7	0	0	3	2	7	9
15		18	楚良 智哉											
HC/TEAM			黒田 裕											
合計				61	9	43	15	33	4	9	23	13	31	44



戦評

記事者：仲田 浩士 (山梨県高体連)

法政二高ハーフコートマンツーマン、習志野ハーフコートゾーンで試合開始。法政二高が#5のスティールから先制するも習志野も#6 Jシュート、#4レイアップで4-4と追いつく。法政二高はターンオーバーが多く、なかなか波に乗れない。一方の習志野はオンボールスクリーンから攻略しようとするが、1Qで4回のムービングスクリーンを取られ苦しみ、お互いにペースを掴めず18-16法政二高リードで1Q終了。2Q法政二高#30の3Pで始まるが、習志野のシューター#7が負けじと連続3Pで応戦。5分過ぎたところで法政二高がオールコートゾーンプレスを仕掛けリズムを作る。ブレイクも連続で決まり37-31で法政二高がリードして前半を終える。3Qも法政二高は1-2-2ゾーンプレスから効果的にボールを奪う。法政二高は#3、#4のガード陣が果敢なドライブやファイトあるルーズボールからリズムを作り点差を広げる。習志野も#17が3PやJシュートを連続で沈め奮闘するも、63-45と法政二高がリードを広げて3Qを終了する。4Qに入っても法政二高の勢いは止まらず、#3のスティール、#31のブロックショットなど見せ場を作る。最後まで落ち着いた試合運びをした法政二高が81-61で勝利した。

主審	第1副審	第2副審
河野 仁 (山梨県)	濱 雄介 (東京都)	望月 裕太郎 (山梨県)